



- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学習指導要領

## 教育目標 自立・共生

～自ら考え、人とともに歩む生徒を育てる～

- 北海道教育推進計画
- 宗谷管内教育推進の重点
- 豊富町教育推進計画

## 目指す生徒像

粘り強く軌道修正を図りながら、主体性と協働性を養い、学び続ける生徒【知】

コミュニケーション能力を養い、自他を認め、人間力を高める生徒【徳】

自己肯定感を養い、粘り強く健康な身体づくりに励む生徒【体】

ふるさと豊富に誇りをもち、地域を支え、未来を切り拓く生徒【郷】

## 育成を目指す資質・能力

【知】	【徳】	【体】	【郷】
主体性	コミュニケーション能力	自己肯定感	問題解決能力
協働性	自尊心	自立心	創造性
論理的思考力	自制心	忍耐力	情報活用能力

- ・全力で授業に取り組み、自己を伸ばそうとする生徒の育成
- ・他者と協働して謙虚に学び、多様な考え方を傾聴しようとする生徒の育成
- ・授業と家庭学習を往還させ、コツコツと主体的に学ぶ生徒の育成

- ・「学校が楽しい」と実感できる学年／学級経営の推進
- ・「いじめを絶対に許さない」意識の醸成
- ・「時を守り、場を清め、礼を尽くす」凡事徹底
- ・自他を思いやり、尊重する生徒の育成

- ・運動に親しみ、日々健康に生きるための身体づくり
- ・生徒が主体的に企画・運営・参加できる学校行事の充実
- ・家庭や地域と連携した望ましい生活習慣の確立
- ・部活動を通じた青春の謳歌

- ・探究的な見方・考え方を働かせる「総合的な学習の時間」の実践
- ・ふるさと「豊富」の外部人材等を活用した「キャリア教育」の実践
- ・小学校と連携しながら、9年間を見通した情報活用能力の育成

## 学校経営方針

全ての生徒の可能性と、全ての教職員の最大限の力を引き出し、

保護者や地域住民に信頼される学校づくりへの挑戦

### 【重点①】心理的安全性が確保される学校づくりへの挑戦

- ・いじめの見逃しがなく、生徒がありのままの自分でいられる学校
- ・保護者とのパートナーシップ(対峙しない関係づくり)
- ・話し合いを重ね、協働して最適解を見出す教職員

### 【重点②】軌道修正を前提とした柔軟な学校づくりへの挑戦

- ・前年度踏襲の見直しによる教育課程の改善・充実、会議の合理化
- ・実効性のある働き方改革と真に必要な教育活動の厳選
- ・ICTの効果的な活用の追究による可動範囲の創出

### 【重点③】生徒の実態に合わせた教職員の指導力向上への挑戦

- 生徒の学力・体力向上・豊かな心の確かな実施
- ・授業スタイルの組織的確立(教科や個人の壁を突き破る意識改革)
- ・教師も生徒も「全力学遊」(成長を楽しみながら職能向上を目指す)

「最適解」×「伴走者」×「考動」を合言葉に生徒の資質・能力を育みます！